

2022.8.15  
No.179

# たなごら 議会だより



2  
ページ

定例会6月会議

15  
ページ

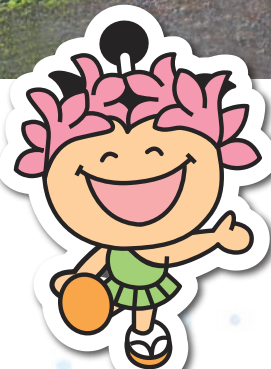
行政調査・  
議員活動報告

6  
ページ

町政を問う  
一般質問

18  
ページ

議会モニター



もくじ

表紙写真

「鮮やかな紫陽花手水」

(山本不動尊)



# 新型コロナウイルス感染症対応 緊急経済対策支援事業予算などを可決

## 令和4年度繰越し事業

### ■ 繰越明許費の繰越し

総務費	社会保障・税番号制度システム整備事業費	330万円
民生費	住民税非課税世帯等臨時特別給付事業費	1,048万円
	子育て世帯等臨時特別支援事業費	22万円
衛生費	新型コロナウイルスワクチン接種事業費	4,552万円
農林水産業費	水田営農対策事業費	507万円
土木費	道路メンテナンス補助事業費	2,100万円
	宅地耐震化推進事業費	341万円
農業集落排水事業費	農業集落排水事業費	8,638万円

### ■ 事故繰越し

総務費	庁舎維持費	1,609万円
災害復旧費	補助農業用施設災害復旧費	2,162万円

## 令和4年度へ10件の事業を繰越し

令和3年度内に事業を完了することが出来ない事業について、令和4年度へ繰越して実施する事業の内容が報告されました。



3月16日の地震により議場が被災し、役場正庁で行われました

定例会6月会議は、6月8日から10日の3日間の会議日程で開かれました。  
会議では、補正予算や条例の一部改正の議案などを慎重に審議し、全て全会一致で可決されました。

## 補正予算

### 一般会計予算

2億4,178万円増額

### 一般会計の主な事業

#### ◎ 新型コロナウイルス感染症

対応緊急経済対策支援事業費

1億3,827万円

コロナ禍における原油高や物価高騰等による町民の生活及び町内の消費回復を支援するため、町内店舗を対象として使用できる「たなぐら応援クーポン券」を1人当たり1万円交付する。

#### ◎ 新型コロナウイルスワクチン接種事業費

1,366万円

4回目のワクチン接種にかかる委託料等の増額。

#### ◎ 住民税非課税世帯等臨時特別給付事業費

3,143万円

令和4年度で新たに住民税が非課税等になった世帯に対し、1世帯当たり10万円を給付するため増額。

### 専決処分の報告

#### ◇ 令和3年度棚倉町一般会計補正予算

事務事業等が確定したことに伴う補正で、地方消費税交付金、法人事業税交付金及び地方交付税等の増額補正

#### ◇ 令和3年度棚倉町後期高齢者医療特別会計補正予算

保険料収入の確定に伴い、後期高齢者医療広域連合納付金が増加したことによる増額補正

#### ◇ 令和3年度棚倉町簡易水道事業特別会計補正予算

事業費の確定に伴う減額補正

#### ◇ 棚倉町税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律等が令和4年3月31日に公布されたことに伴い、町民税の住宅借入金等特別税額控除の特例の延長など税条例の改正

#### ◎ 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費

1,216万円

18歳までの子どもを養育する方の住民税が非課税等の場合、子ども1人当たり5万円を給付するため増額。

#### ◎ 庁舎災害復旧費

1,938万円

3月16日発生の地震により被災した役場庁舎の復旧工事費用。



#### 特別会計補正予算

#### ◇ 棚倉町国民健康保険特別会計

363万円減額

主な内容は、歳入は国民健康保険税の本算定による減額、歳出は医療費給付分の減額補正。

#### ◇ 棚倉町上水道事業会計

資本的収入 2,072万円増額

資本的支出 2,068万円増額

主な内容は、測量設計業務委託料及び井戸改修工事費の増加による補正。

### 条例の一部改正

#### ◇ 棚倉町国民健康保険条例の一部を改正する条例

地方税法施行令の改正に伴う課税限度額の改正及び、国民健康保険法施行令の一部改正に伴う未就学児の均等割額の軽減規定の創設、低所得者の応益分軽減額等の改正

### 発議

#### ◎ シルバー人材センターに対する支援を求める意見書の提出

シルバー人材センター会員に対する、消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）の適用除外とするなどの措置を講じるよう要望するため国へ意見書を提出



## 経営状況報告

町が出資している法人・団体である、株式会社ルネサンス棚倉、一般財団法人棚倉町活性化協会、白河土地開発公社から、令和3年度における経営状況が報告されました。  
 なお、株式会社ルネサンス棚倉における経営状況は次のとおりとなっています。

# 株式会社ルネサンス棚倉

～損益計算書・事業報告書より～

### ◇利用総額

宿泊、研修室、クアハウス、プールなどの利用者から納入された総額 **9,113万円**

### ◇雑収入

町からの指定管理料 **6,111万円**

### ◇貸付金

町からの貸付金 **2,000万円**

### ◇町内業者からの仕入れ状況

食材及び燃料等 **3,530万円**

### ◇開催した主なイベント

サイクルダイエット 他

### ◇主な実績

( )内前年比

宿泊延べ人数	8,765人 (1,499人増)
売上高	12,443万円 (2,944万円増)
当期純利益額	△5,430万円 (1,795万円減)
累積赤字額	3億1,252万円 (5,430万円増)

～令和4年度事業計画～

- ・健康リゾートとしてのサービスを強化し、快適に滞在していただけるよう、サービス向上に努める。
- ・営業黒字化を目指すため、新5カ年計画を基に売り上げ2億5千万円を達成する。

### 数値目標

売上高：2億5,000万円  
 経常利益：50万円  
 宿泊者数：1万7,000人



石井重實代表監査委員及び蛭田卓雄監査委員により、各課担当職員から聞き取りをしながら、書類等のチェックを行い、適正に執行されているか確認しました。



決算審査の様子



決算審査が行われました  
 7月27日～8月3日までの6日間

## 国民健康保険税が改正されました

### 改正内容

- (1) 地方税法施行令の改正に伴い、国民健康保険税の医療費分の課税限度額を63万円から65万円に、後期高齢者支援金等分の課税限度額を19万円から20万円に引き上げ。
- (2) 前年分所得の確定に伴い、負担する所得割等の国民健康保険税率の改正並びに低所得者の軽減措置対象者の応益分税額の改正。
- (3) 国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、未就学児に係る被保険者均等割額を1/2減額した額とする改正。

### ■ 国保税率

		令和3年度	令和4年度	比較
※1 医療分	所得割	5.49%	5.60%	0.11%
	均等割	19,500円	19,300円	△200円
	平等割	13,500円	13,200円	△300円
	限度額	630,000円	650,000円	20,000円
※2 後期高齢者支援金分	所得割	2.65%	2.70%	△0.05%
	均等割	9,400円	9,300円	△100円
	平等割	6,500円	6,400円	△100円
	限度額	190,000円	200,000円	10,000円
※3 介護分	所得割	2.09%	1.85%	△0.24%
	均等割	8,500円	8,600円	100円
	平等割	4,200円	4,000円	△200円
	限度額	170,000円	170,000円	0円

### ■ 年間平均保険税

		令和3年度	令和4年度	比較
医療分	1世帯あたり	71,975円	70,773円	△1,202円
	1人あたり	44,567円	44,328円	△239円
後期高齢者支援金分	1世帯あたり	33,661円	32,765円	△896円
	1人あたり	20,843円	20,523円	△320円
介護分	1世帯あたり	22,948円	21,959円	△989円
	1人あたり	19,975円	20,127円	152円

#### 【用語解説】

- ※1 医療分 → 主に医療給付などに充てられるための保険税
- ※2 後期高齢者支援金分 → 75歳以上の後期高齢者医療制度を支援するための保険税
- ※3 介護分 → 被保険者の40歳から65歳未満に課税される保険税



# 町政を問う



定例会6月会議では8人の議員が登壇し質問を行いました。  
1人の制限時間は60分、一問一答方式で行われます。  
行政全般について町民の身近な課題や町政発展に係る質問を活発に議論しています。



## 1 割栢 義夫 議員 …… 7ページ

1. 不登校の調査検証、取り組みは
2. 町職員の技師職の人材確保は

## 2 藤田 光子 議員 …… 8ページ

1. 旧棚倉高校跡地の現況は
2. 観光案内に工夫を加えては

## 3 菊池 忠二 議員 …… 9ページ

1. 棚倉町の幼児子育てのサポートは
2. 田楽橋周辺の道路整備計画は
3. 地元ソフトテニスチームのサポートは
4. 町役場への投稿は

## 4 佐藤 喜一 議員 …… 10ページ

1. 石田堰の今後の対策は
2. 統合小学校における学年の児童数は
3. 町職員の心身への健康管理を問う

## 5 藤田 智之 議員 …… 11ページ

1. 出産祝い金や多子世帯への補助は
2. 給食費の値上げは
3. 県の災害修繕補助制度の周知は
4. 森林環境譲与税の使い方は
5. 延べ368名のコロナ感染者の後遺症は

## 6 鈴木 政夫 議員 …… 12ページ

1. ルネサンス棚倉の改革について
2. 棚倉駅脇の駐輪場の屋根設置について
3. 学校給食費の無料化について

## 7 佐川 裕一 議員 …… 13ページ

1. 少子化対策を問う
2. デジタル化推進を問う
3. 「テニスパーク棚倉」による町への効果は

## 8 大竹 盛栄 議員 …… 14ページ

1. 新たな観光資源の開発や支援は
2. ニノ丸石垣の早期復旧の考えは

### 問 不登校の調査検証、取り組みは 答 適応指導教室を設け取組んでいる

**問** 小・中学生の不登校の推移及び調査結果の検証、取り組みは。

**教育長** 中学校は、平成30年度15名、令和元年度14名、令和2年度12名、令和3年度12名。小学校は、平成30年度1名、令和元年度3名、令和2年度4名、令和3年度10名。一人ひとりへの指導、援助を目的とした適応指導教室を設け、スクール・ソーシャルワーカー等との連携を図り、改善に向けた取組みを行っている。

**問** 児童・生徒が安心して過ごせる学校にするための取組みは。

**教育長** 道徳教育の重要性や必要性について、理解を深めながら豊かな人格を形成するための取組みを実施している。

**問** 児童・生徒の多様性を受け入れる教育の取組みは。

**教育長** 児童・生徒の意思を十分尊重し、多様な教育機会の確保、学校内外にて個々の状況に応じた

個別的で段階的な支援を実施することが重要と考えている。



スクールバスで元気に登校する児童

**問** 同一性、画一性を求める教育を変えそして、大きな転換期にあるのでは。

**子ども教育課長** 個別化を大切にし、子どもに学校を合わせることも考えていく必要がある。新しい時代に生きる子どもたちに発達段階に応じ自分で決めることのできる資質能力を育てていく。

**問** あらゆる場面で同一性を持ち、知らずのうちに同調圧力が育っている連鎖が起こっている。この学校の当たり前の見直しは。

**子ども教育課長** 目的と手段の関係から見直していくことは重要である。学校が主体的に取り組みを進めていく。

**問** 子どもたちを指導する前に、先生や学校関係者自身が多様性を理解し、多様性に配慮した運営をすべきではないか。

**子ども教育課長** キャリア教育を推進し、児童・生徒と多面的に関わる際、肯定的に接することを求め、多様性を受け入れることにつながっている。

**問** 町職員の技師職の人材確保は

**答** 現在、技師職の職員はいない。職種を限定した採用も行っていない



現場で業務に励む職員

**問** 技師職の育成に向けた取組は。

**町長** 技術的な知識習得の機会を確保し、専門的な知識を必要とする業務に従事できる職員育成に努めている。

**問** 業務上必要な資格取得や、スキルアップ対策などの支援は。

**町長** 研修会に参加させ、職員のスキルアップに努め、資格取得も必要に応じて支援を行っている。



割栢 義夫



### 問 旧棚倉高校跡地の現況は

### 答 県からの打診は出されていない

**問** 町が高校設立のため寄附をした面積と、敷地総面積は。

**町長** 寄附面積は約2万2,270㎡で敷地総面積は3万8,758㎡。

**問** 県から打診はあったのか。あればその内容は。

**町長** 現在のところ、用地取得の意向や売却の有無について話は出されていない。

**問** 福島県地域連携室との話し合いが毎月行われているとのことだが、直近ではいつごろで、どのような内容の話がされたのか。

**地域創生課長** 地域連携室とは、旧棚倉跡地だけでなく別の話もしている。また、4月に教育庁財産課施設財産室の職員が来庁し、人事異動による顔合せを行った。新担当者には県庁施設整備等をお願いした。施設財産室では、用地取得の意向や売却提示ができるまでに至っていない。進捗があれば

連絡をくれるようお願いした。

**問** 県としては、利用の考えはないという答えがあったのか。

**地域創生課長** 県が関係部署に意向調査をしたところ、利用したいという部署は無かったと聞いている。

**問** 用地を買収する場合や、土地活用の内容など多岐にわたる協議が必要。早急に検討委員会を立ち上げ、町民が納得する内容にすべきでは。

**地域創生課長** 県から進捗の報告があり、利活用の検討が必要であれば、検討委員会の設置を検討する。

**問** 町としての考えを固めておくべきだと思うが。

**町長** 県は本町に伺いを立て、何もしないとすれば競売をかけるとの事なので、慌てる事はないと思っている。本町の地域活性化の

ため、県南地方発展のためにも様々な情報を取り入れて考えていく必要があると思っている。



今後の動向を注目する旧棚倉高校跡地

### 問 観光案内に工夫を加えては

**答** 分かりやすい標識になるよう努める

**問** 観光案内標識が分かりにくい。設置箇所の見直しと、新たな標識等の設置は。

**町長** 棚倉町歴史的風致維持向上計画のなかで標識の設置を計画している。



藤田 光子

**問** 町内に入る道路案内の必要性を強く感じている。特に、赤館公園の入口が分かりにくい。

**地域創生課長** 指摘のとおりなので看板整備と併せて検討したい。

**問** 案内板の確認、新たな看板の設置、道路案内標識の見直しなどは常時点検をすべきでは。

**地域創生課長** 今後どのように見やすくしていくかを検討したい。

**問** 各要所に防犯カメラの設置が必要かと思うが。

**地域創生課長** 道路等への設置について調査研究をしていく。



分かりにくい赤館公園の入り口



菊池 忠二

### 問 棚倉町の幼児子育てのサポートは

### 答 子育て世代包括支援センター等活用

**問** 幼児サポートの具体策は。

**教育長** 保育園料は世帯の所得や子どもの年齢等に応じて軽減・無償としている。また、子どもセンターにおいては各種事業を実施し、子育て世代包括支援センターでは保健師等が妊娠期から出産・子育て期までの相談に応じ、更に子育て中の家庭には生後6カ月から小学6年生までを対象に一時的に子どもを預かるファミリーサポートセンター事業を実施しており、利用料の1/2を助成している。

**問** 3人の子などの場合の1人だけでも入園は可能か。

**教育長** 子ども・子育て支援法により国の基準に準じて町が定めた基準に合致すれば可能。

**問** 国も来年度子ども家庭庁の創設を検討している中、使い勝手の良い弾力的に運用出来る保育園の入園基準を検討しては。

**子ども教育課長** 国・県の動向



子育ての要、棚倉保育園

を注視していく。

### 問 田楽橋周辺の道路整備計画は

**答** 修繕時期や整備の時期を検討している

**問** 田楽橋の架け替えは。

**町長** 修繕や更新が必要な橋梁であるため検討している。

**問** 道路整備計画は。

**町長** 橋梁整備に併せて拡幅

工事も検討している。

**問** 具体的には。

**整備課長** 令和8年度以降に事業化を検討している。

**問** 町が購入した住宅用地の宅地造成の見積もりは。

**整備課長** 試算はしていないが、調査研究する。

**問** 鹿子山沢目線の通行止は。

**整備課長** 道路の障害物の除去についての交渉を続けていく。

### 問 地元ソフトテニスチームのサポートは

**答** ルネサンス棚倉で通常料金から20%割引など

**問** 町営の安価で活動できる施設がない現状はどうか。

**産業振興課長** ルネサンス棚倉の調整会議等で協議していく。



テニスの聖地ルネサンス棚倉のテニスコート

### 問 町役場への投稿は?

**答** 郵送が2件、ホームページ上のアンケートに50件



### 問 石田堰の今後の対策は

### 答 関係機関と調整を図り施設を保全

**問** 石田堰、上川原堰の改修については、今後どのような対策をする予定か。

**町長** 堰の管理主体である受益者及び水利組合をはじめ、土地改良区等と施設の保全について協議、検討をすることにも、関係機関である県南農林事務所と調整を図りながら施設の機能を保全する方向で検討していく。

**問** 石田堰の修理等の経過は。

**町長** 平成23年度、26年度、27年度、令和2年度、3年度に災害復旧工事及び修繕工事を実施。

**問** 町内のラバーダムについて、今年度に機能診断の実施計画があるか。

**整備課長** 福島県土地改良事業団体連合会が、今年の10月4日に定期診断を実施予定。

**問** 農業施設の改修についての対応は。

**総務課長** 整備課と産業振興課とそれぞれ連携を密にして、遺漏のないように対応していく。



ラバーダムの上川原堰

安としているが何を基準としたのか。

**教育長** 学校教育法施行規則による学級編成の法的基準が1クラス35名のため、一学年2クラスとなる70名とした。

**問** 令和以降の棚倉町の出生数は。

**子ども教育課長** 令和元年が76名、2年度が69名、3年度が73名となっている。



近津小学校

**問** 学びのあり方検討委員会の意見書により統合小学校については、学年の児童数が70名程度を目

**問** 統合小学校における学年の児童数は

**答** 学校の適正規模に合わせた学年70人とした

### 問 出産祝い金や多子世帯への補助は

### 答 出生数の増加には効果が見られない

**問** 出産祝い金は多くの自治体で導入され、2子、3子とより増額をする自治体もある。当町でも早急に検討すべきでは。

**町長** 乳幼児支援としてすこやか赤ちゃん応援券支給事業で2歳未満までの乳幼児を対象に、毎月2,500円分の助成券を交付。子育て世代包括支援センターを中心に妊娠前から子育て期にわたる切れ目のない相談支援の充実を図っている。多子世帯への補助や出産祝い金の支給は出生数の増加に効果が見られず、廃止している自治体もあるため考えていない。

**問** 様々な要因で、経済の停滞、物価の上昇が続き、生活への影響が懸念されるが対策は。給食費の値上げ等はあるのか。

**町長** 国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、町民1人当たり1万円としてたなぐら応援クーポン事業を実施。

**教育長** 学校給食は食材ごとに期間を設け購入。食用油等の価格の上昇はあるが、予算内で対応可能で値上げの予定は無い。



学校給食

**問** 物価の上昇で給食費の値上げが避けられない時の対応は。

**町長** その分については町のほうでしっかりと予算等を取りながら給食の充実を考えたい。

**問** 県の災害修繕補助制度の周知は

**答** H Pや広報たなぐらで早急に行う

**問** 3月の福島沖での地震により、県内、町内で被害が発生しているが対応は。今後予想されるが対策は。県の補助制度や罹災証明の周知は。

**町長** 本町では震度5強を観測をし5月末現在の家屋の被災状況は準半壊が2棟、一部損壊が70棟。防災マップを全世帯に配布をして、災害時の対応や浸水想定区域等の周知に努めている。罹災証明は電話や来庁での問合せに対応し、町HPにも地震発生時の翌週から掲載。

**問** 統合小学校を開校するには、構想から何年程度かかるのか。

**子ども教育課長** 土地の確保、建築等があり10年はかかると予想している。

**問** 町職員の心身への健康管理を問う

**答** 定期健康診断とメンタルヘルス研修を実施

**問** 町職員の健康管理については、どのような方策が実施されているのか。

**町長** 全職員を対象として定期健康診断とメンタルヘルスに関する研修を実施。

**問** パワハラ、セクハラへの対応については。

**総務課長** 職員間のハラスメント防止対策のための基本方針を策定している。



藤田 智之

県の補助制度は予算が可決されたので速やかにHPに掲載し、広報たなぐら7月号で周知する。



被災した家屋の屋根

**問** 森林環境譲与税の使い方は

**答** 一部を基金に積立ながら林道の維持補修や所有者の意向調査等に取り組む

**問** 延べ368名のコロナ感染者の後遺症は

**答** 保健所の管轄であり今のところ無いと認識



佐藤 喜一



### 問 ルネサンス棚倉の改革について 答 町民に親しめる施設づくりを目指す

**問** 経営の目的が都会から誘客型になっており、地元密着型に改められないのか。

**町長** ルネサンス棚倉は、都会からの誘客型になっているとの指摘だが、これまでと同様に町民に親しまれる施設づくりを目指して行く。

**問** 経営診断業務報告書が出ているが、町はどのように指導してきたのか。

**町長** 平成21年に業務診断報告書を株式会社ルネサンス棚倉に提出し、会社の経営として取り組むべき改善事項の検討をするように要請してきた。

**問** 乗馬部門は廃止する方向で検討しているとのことであったが、馬が残されているがどのような状態なのか。

**町長** 乗馬部門の営業は終了しているが、残された馬については、高齢で譲渡先もないため飼育している状況である。

**問** クアハウスの営業時間が午後3時からなのはなぜなのか。

**町長** 新型コロナウイルス感染症の影響等により利用者が減少したため、営業時間変更の報告を受けている。

**問** 食品加工施設はどのような人が利用出来て、誰が指導するのか。

**町長** 食品加工施設については、誰でも利用できる施設で、利用説明についてはルネサンス棚倉の社員が行っている。

**問** ルネサンス棚倉からの町への納付金、東京都特別区への返還金の状況はどうなっているのか。

**町長** 施設整備納付金については、平成30年度から協議の上、凍結しており、東京都特別区の預り金は、令和4年3月末現在、1千万円となっている。

**問** 棚倉駅脇の駐輪場の屋根設置について  
**答** 現在のところ設置の考えはない

**問** 棚倉駅の脇にJRから借りている町の駐輪場があり、利用者から屋根を設置して欲しいと要望があるが、町の考えは。

**町長** 利用者が年々減少しており、現在のところ屋根を設置する考えはない。



屋根の設置を望む駐輪場



鈴木 政夫

**問** 屋根がないので利用しにくいと聞くが、どう考えるのか。

**産業振興課長** JR施設を利用する方のための施設でもあるので毎年、JRにも要望している。

**問** 学校給食費の無料化について

**答** 無料化の予定はない

**問** 学校給食の無料化をわが町でも実施すべきと思うが、町の考えは。

**教育長** 現在本町においては、小・中学生は二割を軽減しており幼稚園の一部においては、副食費の免除を行っており、無料化の予定はない。



佐川 裕一

### 問 少子化対策を問う

### 答 子ども・子育て支援事業に取り組む

る相談、情報提供や助言などを行い、妊娠前から子育て期にわたり切れ目のない支援に努めている。

**問** デジタル化推進を問う

**答** オンライン決済を導入

**問** 町のデジタル化の状況は。

**町長** 自治体DX推進手順書が総務省より示され、ステップ0から3まで四段階の手順が示されている。ステップ0は「DXの認識共有・機運醸成」、ステップ1は「全体方針の決定」、ステップ2は「推進体制の整備」、ステップ3は「DXの取り組み実行」。国は、自治体DXの計画期間を令和8年3月までとしているので、この手順書に沿って計画期間内でデジタル化の推進を図っていききたい。

町税や水道料金については、昨年度から電子マネーによるオンライン決済を導入しており、証明書



子育て世代包括支援センターが設置されている保健福祉センター

**問** 子ども・子育て支援事業は。

**町長** 棚倉町子ども・子育て支援事業計画に基づき、妊婦健康診査の助成事業、乳児家庭全戸訪問事業、すこやか赤ちゃん応援券支給事業、延長保育事業、幼稚園3年保育の実施、幼稚園の一時預かり事業、放課後児童健全育成事業など。子育て世代包括支援センターでは、妊娠、出産、子育てに関す

**問** 「テニスパーク棚倉」による町への効果は

**答** 経済的な効果が見込まれる

**問** テニスパーク棚倉の効果は。

**町長** 来場者が増えることで、町内小売店などへの経済的な効果や、ルネサンス棚倉の利用者や宿泊者の増加が見込まれる。



テニスパーク棚倉

**問** 町民のソフトテニス競技力向上は。

**教育長** 日本ソフトテニス連盟側においても地域のジュニア育成に対し積極的なので、様々な機会を今後活用し中学校、高校の部活動や、スポーツ少年団等の活動と連携しながら、競技力の向上が図れるよう検討。



# 新たな観光資源の開発や支援は 計画に基づき観光の強化に努める

**問** 観光に対する支援や、新たな観光資源の開発、支援の計画は。

**町長** 町観光協会及び各支部に補助金を交付し、支援している。また、観光地の施設整備として、近年は山本キャンプ場のトイレや炊事棟の整備を実施している。新たな観光資源の開発や支援計画については、棚倉町歴史的風致維持向上計画に基づき、ハード面の整備を進める事により歴史的観光資源として位置づけ、観光の強化に努める。

0人の来場者があり、効果的な事業であったと捉えている。

**問** 城跡周辺に観光案内板の整備計画は。

**地域創生課長** 都市再生整備事業の中で案内板の整備や、ARアプリなども検討をしたい。

**問** 夜桜見物のための雪洞を、観光協会を使って復活させては。地域創生課長 今後総合的に検討して行く。



賑った「たなぐらsakuraマルシェ」

**問** ニノ丸石垣の早期復旧の考えは

**答** 条件が整えば速やかに着手したい

**問** 3月16日に発生した福島県沖地震で、棚倉城跡整備基本計画の作業工程の見直しや、ニノ丸石垣にまた被害が出たが早期復旧の考えは。

**教育長** 整備計画の見直しの必要は生じていない。ニノ丸石垣については、地震後、国・県に被害の報告をし、文化庁の現地視察を受け、昨年2月の被害と合わせ、災害復旧の条件が整えば速やかに事業に着手したい。

**問** 多額の費用がかかると思うが、見積もりは。

**生涯学習課長** 概算で約4億円以上。

**問** 災害復旧が認められ着手する工程は。

**生涯学習課長** 5年から6年間を見込んでいます。来年度から測量などを進めて行きたい。

**問** 石垣の部分を公有地化しては。

**生涯学習課長** 国からも公有地化が望ましいという意見がある。

**問** 棚倉城跡の植生の調査結果を棚倉城跡整備基本計画に反映させるか。

**教育長** 景観及び植栽に関する計画の項目に盛り込む予定。



崩壊しているニノ丸石垣



おたけ もり 大竹 盛栄

# 他市町行政調査報告 先進地で学ぶ

令和4年7月6日から8日にわたり、福島県桑折町、宮城県加美町及び石巻市において、調査・研修を行いました。その結果について、報告いたします。

## 調査内容

- ・歴史的風致維持向上計画策定後の町おこし等について
- ・定住促進の施策について
- ・消防団員の確保について
- ・学校の統合関係について
- ・結婚から妊娠、出産、子育て支援について
- ・エネルギー自給率の向上について
- ・6次産業化に係る行政の対応について
- ・議会だよりの編集について



桑折町 片平議長挨拶の様子

## 総務常任委員会

### 福島県桑折町

●歴史的風致維持向上計画策定後の町おこし等について

当町の赤館城跡とほぼ同時代に作られている西山城跡については、史跡等総合活用整備事業など国土交通省や文化庁と関わりながら史跡文化財保護のため、各事業に対して有効活用のできる補助金の運用に努めているところは町おこしの核となる動向として見習うべきであった。

特にPRに対しては、様々なイベントを展開しているが中でも「山城サミット」を計画し、県のサポート事業補助金を活用し、全国に広めるようユニークな事業を実施している。当町の赤館城跡も参入可能との話を受け、興味深い内容を聞く事が出来た。

文化財を守り、町をPRしていくには各事業に対する補助金等を有効に活用し、町へ誘客を図るための整備が重要であることを学んだ。



宮城県石巻市にて研修

### 宮城県石巻市

●定住促進の施策について

石巻市は、移住定住に関する補助金等の活用方法などにも工夫が見られ、人口減少を見据えた施策内容は参考にすべきところが多々あった。

当町でも移住定住促進事業に本腰を入れて取り組むためには、あらゆる面での受け入れ体制を整え、定住促進を図っていく必要があると強く感じた。

委員長 藤田光子



## 厚生文教常任委員会

### 福島県桑折町

#### ●消防団員確保について

少子高齢化による人口減少等により、地域を支える消防団員の確保は、この町も大きな問題である。

このような中、桑折町では女性消防団があり、役場の女性職員が積極的に入団し活躍している。また、退職団員による機能別消防団の設立や、SNSを使った団員募集というような手法が、団員確保に繋がっている。

当町においても、女性消防団の増員や、機能別消防団の設立について活動内容も含め、検討すべきであると考えている。

### 宮城県加美町

#### ●学校の統合関係について

平成15年の合併により誕生した町で、中学校再編計画趣意書及び基本方針が決定され、統合に向け踏み出したが地域性等の要因で難航。令和元年教育委員会（行政主導）の再編方針を踏まえ検討委員会を設置し、3町合併から約20年の

時を経て実現している。

当町においても、小学校統合を検討する時期に来ていると思う。力強い行政主導により、地域への働き掛けや、廃校後の利活用も含め、統合検討委員会のような組織を速やかに設置すべきと考える。

### 宮城県石巻市

#### ●結婚から妊娠、出産、子育て支援について

子育て世代包括支援センター事業で、切れ目のない支援に取り組んでいる。特に、育児ヘルパー事業では掃除洗濯など家事全般、オムツ交換等の支援を実施している。子育て応援アプリの活用や、子どもの権利に関する条例が制定されており、より良い環境作りがされている。

当町においても、育児ヘルパー事業、子どもの権利に関する条例制定を参考にし、検討実施できれば、さらに子育てしやすい町として認知され、人口減少の歯止めにも一定の効果が期待できるのではないかと考える。

副委員長 大竹 盛 栄

## 建設経済常任委員会

### 福島県桑折町

#### ●歴史的風致維持向上計画策定後の道路や歴史的建造物保存事業などについて

桑折町では、平成28年3月に歴史的風致維持向上計画が認定となり、現在色々な事業に取り組んでいる。国土交通省の都市再生整備計画

事業（社会資本整備総合交付金を活用し、西山城跡周辺の遊歩道やアークセス案内板の整備、旧伊達郡役所の門及び周囲の柵の再現的改修を行っている）。

本町でも、計画により各種補助金等を活用し、整備を進めるべきと考える。

### 宮城県加美町

#### ●エネルギー自給率の向上について

電力の自由化により加美町と民間企業が共同出資し「かみでん里山公社」を設立。町内の太陽光発電所などから電力を買い取り、町内の公

ている。電気の使い方に合わせた料金設定などにより、公共施設、民間事業者などの電気料金が削減がされている。公社の利益は出資者に配当せず、町づくりに活用されている。

地域新電力会社の設立については課題もあるが、地域活性化に有効なので本町でも検討すべきと考える。

### 宮城県石巻市

#### ●6次産業化にかかる行政の対応について

地域資源を活かした商品開発や販路開拓等、6次産業化の担い手となる人材育成と事業化支援を行うため、「石巻市6次産業化・地産地消推進センター」を設置している。

また、農林業者と地域の様々な事業者との連携を強化し、1次・2次・3次産業を営む事業者がネットワークを形成して取り組む新商品開発等の事業に対し助成金の交付制度がある。

本町においてもこのような制度を参考にし、6次産業化を推進する必要があると考える。

委員長 和 知 裕 喜

## 広報編集常任委員会

### ●議会だよりの編集について

### 宮城県加美町

加美町では、議会だよりを住民が関心を持ち読んでもらえることを第一に、常に住民と議会のパイプ役としての考え方に立ち編集に取り組んでいる。紙面は写真を多く掲載し、視線の流れを意識して文章を配置するようにしており、各議員の一般質問の紙面にはQRコードを入れ、読み込むことで議会の模様を見ることができるよう工夫している。また、定例会終了後には審議内容を周知する速報版を発行し、その後、本紙を発行していた。

さらに、議会だよりにモニターを設置し、年代別の町民18名から意見を聞き、より充実した広報活動に努めていた。



宮城県加美町の議場にて研修

### 宮城県石巻市

石巻市では、「議会広報紙発行に関する基本方針」と「議会だよりの編集マニュアル」が策定されており、議会活動が市民に分かりやすく、読みやすい広報づくりに取り組んでいた。

加美町と、石巻市での研修を大いに参考にし、今後読みやすく親しみやすい議会だよりの作成するよう展開してまいりたいと思う。

委員長 菊 池 忠 二

## 議員活動報告

### 建設経済常任委員会研修会

5月20日、「ルネサンス棚倉の整備改修計画について」をテーマに、産業振興課長及び担当職員を講師に迎え、令和10年度までに計画されている改修計画の概要などの研修を行いました。

終了後はルネサンス棚倉へ移動し、食品加工施設等を視察しました。



### 福島県町村議会広報研修会

6月30日、福島県町村議会議長会主催で福島市とうほう・みんなの文化センターを会場に開催されました。県内の議会広報を担当する議員を中心に、当町からは広報編集常任委員全員が参加し、議会だよりの広報力を高める編集方法等について研修しました。





# 言わせて一言

## 人を・心を・時をつなぐたなぐらまちに

### 住む皆様にご意見、ご感想を伺いました。



西中居にお住まいの  
大竹 孝治 さん



大きく変貌を遂げたと思って里帰りした町は、20年前とあまり変わっていないかっただけで、どこか安心した自分がいました。『変わらないうことは、変わっていくことより難しい』伝統継承の言葉でしょうか、町政も同様なのかなと考えます。これまでの良きものを守るために、変えてゆかなければならないものがあり、その選別も含め、私たちは難しい課題を常に突き付けられているのではないのでしょうか。

リハビリや介護に関わる仕事をしている私が思うのは、子どもや高齢者や障害のある方々にとって扱いやすく設計(ユニバーサルデザイン)されたものは、誰にとっても良いもの、という言葉です。議会では皆が住みやすい町にすべく、日頃から議論が交わされている様子が伺い知れます。

誰もがいつでも安心して帰って来れる場所(ふるさと)を作りあげていくことが、私たち町民に課せられた使命でもあると思います。

関口にお住まいの  
沼野 将美 さん



町議員の皆様におかれましては、日頃よりお疲れ様です。

さて、今棚倉町は子どもの数が減っています。バスの無償化や、子育て支援は充実していますが、出産までの支援はまいちだと感じています。つわりや切迫流産など、妊娠による急な入院時の妊産婦医療費助成制度の導入を検討して頂きたいです。安心して子どもが産めるような環境を作って頂きたいです。

また、農業者への補助も検討して頂きたいです。私は、2014年4月から就農した際にハウスを建てましたが、研修先や同期の方々に町からの補助がないことを話すと「あり得ない」と言われました。このままでは棚倉町の新規就農者は増えないと思います。つまり、耕作放棄地が増えた荒れた町となつていきます。

子どもと農業は、棚倉町の未来だと思っております。棚倉町の未来のためにもこの願いを込めて。

## あなたも議会を傍聴しませんか

傍聴の手続きは、役場庁舎3階の傍聴席入口で住所と名前を書くだけで、どなたでも傍聴できます。



### 定例会9月会議日程のお知らせ (予定)

正式日程は、9月上旬開催予定の議会運営委員会で協議されます。



- 9月13日(火) 本会議
- 14日(水)・15日(木) 一般質問
- 16日(金) 決算特別委員会・本会議

## 編集後記

6月中に梅雨もあけた後、一気に暑い夏を迎えましたが、今後温暖化の進行を感じるような猛暑になるのか、早く秋が来るのか。

また、新型コロナウイルスのオミクロン株「BA.5」、物価上昇をはらんだウクライナの戦況など舵取りの難しい局面の中、先月、我が国の大きなリーダーが凶弾に倒れました。日本でこのような事が起きるとは思いもありませんでした。謹んで哀悼の意を表します。

広報編集常任委員会  
委員長 菊池 忠二



- 広報編集常任委員会
- 委員長 菊池 忠二
  - 副委員長 蛭田 卓雄
  - 委員 佐川 裕一
  - 委員 大竹 盛栄
  - 委員 和知 良則

発行責任者 / 議長 須藤 俊一 編集 / 棚倉町議会広報編集常任委員会  
〒963-6192 福島県東白川郡棚倉町大字棚倉字中居野33  
☎(0247)33-7882 FAX(0247)33-3715

URL: <http://www.town.tanagura.fukushima.jp/>  
e-mail: [gikai@town.tanagura.fukushima.jp](mailto:gikai@town.tanagura.fukushima.jp)